

TEAM FUKUOKA NEWS 2025

Road to SHIGA

R7.8.21 Vol.5

第45回九州ブロック大会福岡県選手団の活躍【8/16～20】

フェンシング競技少年種別、経験値の差で力及ばず。

島原復興アリーナで実施されたフェンシング競技。少年種別はフルーレ種目で総当たり戦を2回行い、少年男子は14試合、少年女子は12試合を2日間で戦った。残念ながら男女とも敗退となったが、少年女子の野元監督（玄界高校）は、「今年は特に経験値に差が出た。他県の選手はジュニアからフェンシングに取り組んでいる。本県選手は高校から始めてまだ1年数か月。今後に期待したい!」と話した。



【少年男子：梶山選手】

アーチェリー競技、3種別で出場権獲得! 少年男女は共に1位!!

長崎県立諫早東高校で実施されたアーチェリー競技。成年男子は残念ながら出場権を獲得することはできなかったが、成年女子はパリ五輪日本代表の徳川選手がチームを牽引する活躍を見せ、2位で代表権を獲得した。少年種別は男女共に安定したパフォーマンスを発揮し、九州ブロック大会1位で代表権を獲得した。少年女子はエリートアカデミー生である古庄選手の活躍が光った。少年男子と共に、国スポでの上位入賞を虎視眈々と狙う。



【成年女子：徳川選手】

ハンドボール競技少年男女、出場権獲得チームと接戦も勝利を掴めず。

佐世保市体育文化館で実施されたハンドボール競技の少年種別。少年男子チームは、1回戦で沖縄県と対戦し、素早いカウンターと巧みなパスワークでゴールを奪い前半リードするも、後半退場者を出している時間帯に逆転され、追いつくことができず、惜敗した。（沖縄県は2回戦も勝利し出場権を獲得した）



【少年男子】

少年女子チームは、1回戦で熊本県と対戦し、取りつ取られつのゲーム展開の中、前半を1点ビハインドで折り返し、後半開始早々に逆転し主導権を握ってゲームを進めていたが、残り5分で追いつかれ、ラスト1プレーで失点し、惜しくも1点差での敗退となった。（熊本県は2回戦も勝利し出場権を獲得した）

ハンドボール競技成年男子、僅差で敗退。成年女子は代表決定戦で涙。

少年種別に引き続き、佐世保市体育文化館で実施されたハンドボール競技の成年種別。成年男子チームは、1回戦で地元長崎県と対戦し、序盤からリードを保ちながらも、ラスト2秒で逆転を許し敗退となり、大変悔しい結果となった。

成年女子チームは、1回戦で男子同様、地元長崎県と対戦し、拮抗する試合を制し2回戦に駒を進めた。2回戦では宮崎県と対戦し、序盤から相手の攻撃力の高さに苦しめられ敗退。代表権最後の枠を賭け大分県との代表決定戦に臨んだが、勝ち上がることができなかった。



【成年女子】

※馬術競技、出場種目確定※

九州ブロック大会馬術競技総合成績1位を獲得した本県選手団は、成年男子が8種目中6種目、成年女子が6種目中5種目、少年が9種目中6種目で本国スポに出場することが決まった。なお、馬術競技における代表権獲得数は、成年男子・成年女子・少年個人・少年団体の計4種別となる。

本県選手団 代表権獲得数

29 / 目標 70

※8月20日終了時点